

を持ち、手探りで開催までこぎつけました。

それぞれの団体の決意発表や、集合写真の撮影で、大館の意気込みを発信し、次の週に開催されるきりたんぼまつりとプレ秋田DCのスタートとして勢いがついたのではないのでしょうか。



大館の観光関係者が集まった「秋田DCキックオフイベント」

**新たな試みとして、市内周遊バス「ぐるっとハチ公号」が運行されましたが、成果はいかがでしたか？**  
「駅の観光案内所を利用した観光客から「数時間で楽しめる観光コースを教えてください」という声が多かった」といって、移動の手段が分からない」といった問い合わせが多くなりました。そのような要望に応えるため、市、秋北バスと

協力して、休日に市内周遊バスを9日間、計18回試験運行し、78人に利用していただきました。

約3時間の行程中、観光協会のボランティアガイド「大館ハチ公の里案内人」が観光案内し、利用した皆さんから好評をいただきました。

乗車したかたにアンケートに答えてもらったところ、約7割は市内のかたで「日頃行ききたかったけれど行けなかった所を見学できて良かった」との感想をいただきました。

市内には素晴らしい観光施設や景色がたくさんあります。このような機会に、まず市民に大館の観光スポットを知っていただいて、皆さんに胸を張っ



大滝温泉の足湯を訪れて「ぐるっとハチ公号」

て市外の友達や知り合いに紹介いただきたいと思えます。

**12月には駅前の方々が秋田DCに関連したイベントを企画しました。**

「12月9日に行われた駅前イベント「駅-one 2012 プレ秋田DC感謝祭」は、大館駅前のにぎわいを創出しようとして大館駅前商店街が企画しました。

冬の駅前で大館囃子の演奏でにぎやかに始まり、国民文化祭に参加する「ゼロダテ」「マーチング」「ゴスペル」を一同に披露する企画や、各店舗自慢の飲食物販売は秋田DCの開催によって期待される「地域づくり」が実践された良い事例であったと思います。

秋田DCをきっかけに、観光に携わるかただけでなく、市民の皆さんの観光に対する意識が変わってくると、街が元気になるのではないのでしょうか。

**10月からのキャンペーンに向けて、市民の皆さんに期待することをお聞かせください。**

「観光は様々な分野のかたが関わってくる産業ですので、一人では何もできません。観光に携わる個人や団体が連携をしっかりと取って、大館が全国に自慢できるきりたんぼ、比内地鶏、ヤマノイモ、とんぶりなど大館ならではの食材を使って新しいメニューを作ったり、曲げわっぱを県外にどんどん売り込んだりすることも、観光を一つの産業とするきっかけになります。」

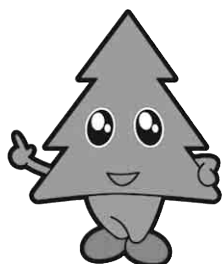
一度に色々なことをやろうとしても難しいので、できることから少しずつ実行してみませんか。

街で出会った人に「おはようございます」「こんにちは」「いらっしやいませ」と真心を持って、そして、笑顔であいさつをしてみましょう。おもてなしの心は、街に、地域に根付きます。

大館に来た人がまた来てみたいと思ってくれるように、市民一人ひとりの参加に期待します。

### おもてなしコラム①

「自分だけのとっておきの話してみよう」



観光で訪れる人たちは、パンフレットやガイドブック、インターネットで事前に情報を得て来ます。それでも、訪問先で地元の人しか知らない話に出会えると、観光は何倍も楽しくなります。

目的地を探している人に出会ったり、道を尋ねられたりしたら、その場所を案内するだけでなく、自分がおススメしたい美味しいお店や、とっておきの観光地を一緒に紹介してみてください。